

令和7年度 科目試験評価票

科目コード	34351	科目名	保育内容総論		問題番号	1
科目試験配点基準						
配点	評価規準	よく書けている(A)	おおよそ(B)	もう少し(C)		
10	文章作法① 丁寧な文字、読みやすい文章。	整った字形で丁寧に書かれており、読みやすい文章である。	どちらかという丁寧な文字で書かれている。 読みにくい文章も見られる。	乱雑な字形で、読みにくい。		
10	文章作法② 読み手に正確に伝わる文章表現。	読み手に正確に伝わる文章表現である。文意が通じやすい。	流れを妨げるような文法上の間違いは少なく、文意は比較的通じやすい。	読み手に正確に伝わる文章表現ではない。		
10	文章作法③ 文体の統一。話し言葉の使用や誤字脱字の有無。	文体が「である調」で統一されている。話し言葉の使用はなく、誤字脱字も見られない。	文体は「である調」で統一されている。少し話し言葉や誤字脱字が見られる。	文体が統一されておらず、「である調」と「です・ます調」の混在が見られる。話し言葉を多用し、誤字脱字が多い。		
10	文章作法④ 段落の使い方の明確化。	段落の使い方は明確である。適宜、段落を用いている。	段落の使い方が、やや不十分である。	段落が全く区切られていない。		
60	平成29年度「保育所保育指針」改定の8つのポイント中で5つ選択し、5項目とも記述がある。 改定のポイントについて、重要な視点や強調された点を述べている。 (1つ12点)	平成29年度「保育所保育指針」改定のポイントを5つ選択し、5項目とも記述している。 5項目とも、重要な視点や強調された点が過不足なく丁寧に説明されている。	平成29年度「保育所保育指針」改定のポイントを5つ選択し、5項目とも記述しているが、重要な視点や強調された点の説明が、やや不十分である。	平成29年度「保育所保育指針」改定のポイントを5つ選択していない。または、5つ選択しているが、重要な視点や強調された点の説明が3項目以下である。または、重要な視点や強調された点の説明がかなり不足している。		

令和 7 年度 科目試験評価票

科目コード	34351	科目名	保育内容総論		問題番号	2
科目試験配点基準						
配点	評価規準	よく書けている(A)	おおよそ(B)	もう少し(C)		
10	文章作法① 丁寧な文字、読みやすい文章。	整った字形で丁寧に書かれており、読みやすい文章である。	どちらかという丁寧な文字で書かれている。 読みにくい文章も見られる。	乱雑な字形で、読みにくい。		
10	文章作法② 読み手に正確に伝わる文章表現。	読み手に正確に伝わる文章表現である。文意が通じやすい。	流れを妨げるような文法上の間違いは少なく、文意は比較的通じやすい。	読み手に正確に伝わる文章表現ではない。		
10	文章作法③ 文体の統一。話し言葉の使用や誤字脱字の有無。	文体が「である調」で統一されている。話し言葉の使用はなく、誤字脱字も見られない。	文体は「である調」で統一されている。少し話し言葉や誤字脱字が見られる。	文体が統一されておらず、「である調」と「です・ます調」の混在が見られる。話し言葉を多用し、誤字脱字が多い。		
10	文章作法④ 段落の使い方の明確化。	段落の使い方は明確である。適宜、段落を用いている。	段落の使い方が、やや不十分である。	段落が全く区切られていない。		
30	子どもの遊びを例に挙げて、5 領域は相互に関連し合いながら総合的に取り組まれるということを、説明している。	子どもの遊びを例に挙げて、5 領域は相互に関連し合いながら総合的に取り組まれるということを、分かりやすく丁寧に説明している。	子どもの遊びを例に挙げて説明しているが、やや丁寧さや分かりやすさに欠ける。	子どもの遊びを例に挙げて説明しているが、不十分な部分が多い。		
30	外国につながるのある子どもの保育について、保育者として子どもや保護者にどのような援助や支援、配慮が必要であるのか述べている。	保育者として、外国につながるのある子どもや保護者にどのような援助や支援、配慮が必要であるのか丁寧に分かりやすく述べている。 子どもと保護者両方について、述べている。	外国につながるのある子どもや保護者にどのような援助や支援、配慮が必要であるのか、子ども・保護者両方について述べているが、やや説明不足である。	外国につながるのある子どもや保護者にどのような援助や支援、配慮が必要であるのか分かりやすく述べられていない。 子どものみ、保護者のみの記述である。		

令和 7 年度 科目試験評価票

科目コード	34351	科目名	保育内容総論		問題番号	3
科目試験配点基準						
配点	評価規準	よく書けている(A)	おおよそ(B)	もう少し(C)		
10	文章作法① 丁寧な文字、読みやすい文章。	整った字形で丁寧に書かれており、読みやすい文章である。	どちらかという丁寧な文字で書かれている。 読みにくい文章も見られる。	乱雑な字形で、読みにくい。		
10	文章作法② 読み手に正確に伝わる文章表現。	読み手に正確に伝わる文章表現である。文意が通じやすい。	流れを妨げるような文法上の間違いは少なく、文意は比較的通じやすい。	読み手に正確に伝わる文章表現ではない。		
10	文章作法③ 文体の統一。話し言葉の使用や誤字脱字の有無。	文体が「である調」で統一されている。話し言葉の使用はなく、誤字脱字も見られない。	文体は「である調」で統一されている。少し話し言葉や誤字脱字が見られる。	文体が統一されておらず、「である調」と「です・ます調」の混在が見られる。話し言葉を多用し、誤字脱字が多い。		
10	文章作法④ 段落の使い方の明確化。	段落の使い方が明確である。適宜、段落を用いている。	段落の使い方が、やや不十分である。	段落が全く区切られていない。		
60	園で具体的にできる子育て支援5項目の記述。 (1つ 12 点)	幼稚園や保育所、認定こども園で具体的にできる子育て支援 5 項目が、分かりやすく丁寧に述べられている。内容も、充実している。	園で具体的にできる子育て支援 5 項目が述べられているが、内容はやや不十分である。説明不足の項目が少し見られる。	園で具体的にできる子育て支援 5 項目すべてが述べられていない。あるいは、内容が不十分である。説明不足の項目が多い。		